

第41回 SCCJセミナー開催のご案内

「スキンコンプレクション:美しく魅せるための最新の技術と応用」

本セミナーは、化粧品を創るためのさまざまな分野からテーマを選定してまいりましたが、今回は「スキンコンプレクション:美しく魅せるための最新の技術と応用」と題して、化粧品の大きな目的のひとつである「美しく魅せる」ことに着目しました。「いかにして顔や素肌を美しく魅(見)せるか」を顔学、心理学、光学、工学および化粧品学から幅広い内容を取り上げ、大学から2名の先生および業界内外から5名の講師をお招きし、さまざまな側面から「美しく魅せる」最新の技術と応用についてお話いただきます。本セミナーの特色でもある講演後の講師の方々とは直接議論するフリーディスカッションの時間も設定いたしました。講演内容について講師の先生方と直接議論いただくことで、聴講するだけでは得られない新たなヒントも発見できるものと思います。こちらにも奮ってご参加ください。

記

【日 程】 2013年2月1日(金) 10:00~17:40 (受付9:30~)

【会 場】 きゅりあん (品川区立総合区民会館) 〒140-0011 東京都品川区東大井町5-18-1
 セミナー: 8F 大ホール
 フリーディスカッション: 7F イベントホール

【参加費】

種別	参加費
SCCJ会員 (正会員・準会員・シニア会員)	13,000 円
代理参加 (※ 正会員が不参加の場合、正会員1名につき代理1名の参加可)	13,000 円
一般および当日参加 (※ 申込なく当日参加の場合は、会員も同額となります)	19,000 円

※ SCCJジャーナル定期購読者は一般参加費となります。

【お振込みについて】

2013年1月25日(金)締切までに、指定口座へお振込み下さい。※ご請求書は発行いたしません。申込書へ記載された、振込額・振込日・振込名義が変更になる場合、必ずSCCJ事務局へご連絡下さい。

振込先指定口座

みずほ銀行 銀座支店 普通 1797932

「日本化粧品技術者会 代表 嶋原靖宏 (シギハラヤスヒロ)」

参加申込: 2013年1月18日(金) 締切
参加費: 2013年1月25日(金) 締切

スキンコンプレクション

美しく魅せるための最新の技術と応用

< スケジュール >

< 総合司会 植田 光一(東洋ビューティ株) >

時間	題目・講師
10:00～10:05	開会の挨拶 セミナー委員長 鈴木 裕二

< 座長 鳥居 宏右(株ノエビア) >

10:05～10:55	顔面表情の知覚について：形態の持つ情動情報 日本大学 文理学部心理学研究室 教授 山田 寛先生
10:55～11:45	視覚・光・色 -見るしくみと見せる技術- 立命館大学 情報理工学部知能情報学科 教授 篠田 博之先生
11:45～12:45	昼食休憩

< 座長 奥山 雅樹(株コーセー) >

12:45～13:25	シニア女性の若々しく生きいきと輝く肌と表情をつくる美容法の開発 (株資生堂 リサーチセンター 大坪 充恵氏
13:25～14:05	素肌の状態と見えの美しさについて 花王(株) 総合美容技術研究所 岡田 絵真氏
14:05～14:45	肌を美しく見せるメイクアップ化粧品 ポーラ化成工業(株) 開発研究部 坂崎 ゆかり氏
14:45～14:55	休憩

< 座長 寺内 友広(株ナリス化粧品) >

14:55～15:35	トレンドからみるきれいの変遷 (株コーセー研究所 研究企画室 本田 佳子氏
15:35～16:15	簡単に「キレイ」を実現する顔画像センシング技術とその応用 オムロン(株) 技術・知財本部 技術開発センタ 川出 雅人先生

< 総合司会 植田 光一(東洋ビューティ株) >

16:25～17:35	フリーディスカッション
-------------	-------------

17:35～17:40	閉会の挨拶 セミナー副委員長 栗山 健一
-------------	-------------------------

講演① 顔面表情の知覚について：形態の持つ情動情報

日本大学 文理学部心理学研究室 教授 山田 寛先生

要旨：私達は、他者との円滑なコミュニケーションを図るため、顔から「表情」と言われる情動情報を抽出している。これは考えてみると少し難しい問題である。というのも、顔には表情ばかりではなく、その人物を同定するための情報や、性別や年齢、人種といった実に様々な情報が混在しているからである。そのような多種多様な情報が混在する中から、人は情動にかかわる情報を比較的容易に抽出し、相手の情動状態を推測している。本講演では、「傾斜性」、「湾曲性」という顔の物理的構造変数の役割を示すとともに、どのような過程で情動判断に至るのかについての研究成果を紹介する。

講演② 視覚・光・色 ー見るしくみと見せる技術ー

立命館大学 情報理工学部 知能情報学科 教授 篠田 博之先生

要旨：機能的で快適な製品や環境を提供するためには、人間の特性を理解しそれに対応することが重要である。本講演では人間の視覚・色覚特性について光学的および心理物理学的な側面から解説し、さらにそれらの特性を上手く利用した応用実例として、新しい空間の明るさ感指標、ディスプレイカラーマネジメント、カラーバリアフリー、白内障の簡易測定法と高齢者用照明などを紹介する。

講演③ シニア女性の若々しく生きいきと輝く肌と表情をつくる美容法の開発

(株)資生堂 リサーチセンター 大坪 充恵氏

要旨：加齢と共に肌の悩みは深刻になり、老化現象が肌に現れてくる。しかし、同年齢であっても、老けて見える人と若々しく見える人がおり、見た目の印象年齢の差は10歳以上にも及ぶ。この老若、2群の肌を調査した結果、実年齢以上に老けた印象に見えるのは、「しわ」「たるみ」「肌色」の3つの要素が関与していることがわかった。そこで、老けて見える肌を、明るく透明感のある質感にする「リズム呼吸マッサージ」と、表情筋を鍛えてたるみを防ぎ、生きいきとした表情をつくるエクササイズ「フェースマッスルプログラム」を新たに開発した。その肌知見とシニア女性が簡単に楽しく実践できる美容法を紹介する。

講演④ 素肌の状態と見えの美しさについて

花王(株) 総合美容技術研究所 岡田 絵真氏

要旨：消費者には顔の印象だけでなく、素肌を美しく見せたいという願望がある。それには、しわ・毛穴目立ちなど具体的な肌状態の改善というニーズだけでなく、なめらかな肌・透明感のある肌になりたいといった曖昧で感性的な表現で示されるニーズもある。そこで、素肌の見た目を表現するワードとして感性的ワード(なめらか・透明感等)と肌状態ワード(しわ・毛穴等)の両者を用いて多変量解析を行い、素肌の見た目の美しさの構成要素を明らかにした。またそれら構成要素と肌物性値を関連付け、スキンケアによる改善アプローチを行ったので紹介する。

講演⑤ 肌を美しく見せるメイクアップ化粧品

ポーラ化成工業(株) 開発研究部 坂崎 ゆかり氏

要旨：肌の見た目の美しさを表現する言葉として、例えば、「透明感がある、みずみずしい、赤ちゃんのような、キメ細かい・・・」があり、逆に美しく見えない肌を表現する言葉として、「くすんだ、キメの粗い、毛穴が目立つ・・・」がある。これら感性的な言葉を、「光」という物理量に変換し、そのデータを活用して、肌を美しく見せる新素材、新製剤の開発を行う、という手法が業界ではしばしば用いられる。肌は複雑な構造を持つがゆえ、その光学特性も独特である。表面反射率だけでは語れない肌の光学特性と、「光、色」に着目して開発された、肌を美しく見せる技術を紹介する。

講演⑥ トrendからみるきれいの変遷

(株)コーセー研究所 研究企画室 本田 佳子氏

要旨：化粧スタイルやメイクアップの流行は、その時代の生活様式やファッショントレンドと深い関わりを持っている。今回のセミナーでは、社会背景や市場の変化、ファッションの変遷等を振り返りながら、その頃の化粧品に関する商品ライン、ビューティワード等と照らし合わせ「きれい」の移り変わりを考察する。

講演⑦ 簡単に「キレイ」を実現する顔画像センシング技術とその応用

オムロン(株) 技術・知財本部 技術開発センタ 川出 雅人先生

要旨：カメラがアナログからデジタルに進化するとともに、その対象に特化して人の顔を誰でも簡単にキレイに撮影・印刷する顔画像センシング技術が急速に普及してきた。その技術は、デジタルカメラのみならず、写真シール自販機や、携帯電話・スマートフォン・タブレット・PCなどのアプリケーションなどにも搭載されて、顔をキレイに撮影する・印刷する、顔で遊ぶなどの顧客価値を具現化してきた。本講演では、簡単に「キレイ」を実現する顔画像センシング技術とその応用をデモを交えて紹介する。

【参加申込み方法】

参加申込は2013年1月18日(金) 締切です。

参加申込用紙へ①～③をご記入の上、FAX:045-590-6093へお申込み下さい。

参加申込受付後、折返しFAXにて受付完了をご連絡致します。※参加証はお送りいたしません。

お申込み後、数日以内に返信FAXが届かない場合は、事務局TEL:045-590-6025へお問合せ下さい。

※返信先FAX番号は正しくご記入下さい。FAX番号の記入が無い場合、受付後の返信ができません。

【キャンセルについて】

参加をキャンセルされる場合、2013年1月25日(金) 締切までに、必ず事務局へご連絡下さい。

※キャンセル締切日以降のキャンセルは、ご返金出来ませんのでご了承下さい。

【参加者の皆様へ】

- 開催当日は8F大ホール前にて、参加者受付を行ってからご入場いただきます。
- 会場内は広い空間となります為、お席によって空調のコントロールができません。
防寒対策として、ひざかけ等ご用意頂く事をおすすめいたします。
- 会場内での飲食およびカメラ撮影、PC・携帯電話等の機器のご使用は禁止しております。

【お問合せ・お申込み先】

日本化粧品技術者会 事務局（森、内藤）

TEL:045-590-6025/FAX:045-590-6093

〒224-8558 横浜市都筑区早渕2-2-1(株)資生堂 リサーチセンター内

会場案内図

まゆりあん

品川区立総合区民会館

〒140-0011 品川区東大井5-18-1

URL://www.shinagawa-culture.or.jp/

● 交通のご案内

JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線大井町駅下車徒歩1分

